

事業所名

スマートキッズプラス南千住

支援プログラム

作成日

2025年

1月

29日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 ・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 ・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		13時30分から	18時0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 災害時の対応を身に着ける課題		危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 自立した生活を送るための買い物学習 健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動		
	運動・感覚	指導員の動きや他者の行動の理解と模倣(指・身体の動き)の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性のためのビジョントレーニング課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等)		
	認知・行動	金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 特性における認知の偏りを緩和し、興味・関心の幅を広げる課題 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 興味・関心の幅を広げるための活動(日本の文化に親しむ(書初め・正月遊び等))		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等)		
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)		
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。		移行支援		当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支えり組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。
地域支援・地域連携		各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 学校での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、実践的な支援に繋げる。		職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(お買い物、公園へ行こう等)、調理活動(パンケーキ作り、お好み焼き作り等)、保護者会、クリスマス会、お誕生日会				